

令和6年度小矢部市下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

本市の下水道事業は、市民の快適な生活環境の確保を図るとともに、公共水域の環境保全に寄与するものとして、より一層の市民サービスの向上に努めています。また、「汚水処理 10 年概成」に向けてより効率的に未普及解消に取り組むため、基本計画を見直し下水道整備の推進を図っています。

① 汚水処理及び整備状況

令和6年度末における処理区域内下水道人口は 21,842 人(前年度比 1.6%減)、下水道普及率は 78.9%となり、前年度より 0.2%の増加となりました。また、年間総処理水量は 2,502 千 m^3 (前年度比 2.2%増)、年間有収水量 1,947 千 m^3 (前年度比 2.6%増)、不明水率は 22.2%となり、前年度より 0.2%減となりました。

現在の認可面積は 1,048.0ha で、そのうち整備済の供用開始面積は 886.9ha であり、汚水処理人口普及率は 90.4%で前年度より 0.3%増となりました。

② 建設改良事業

令和 12 年度までの「汚水処理 10 年概成」を目指し、未普及地域での特定環境保全公共下水道事業として汚水管の布設を行うとともに、宅地造成等に伴い、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業として汚水管の布設並びに公共ますの設置を行いました。

未普及地域での整備としては、荒川(芹川)、若林(金屋本江)、水島(胡麻島)、津沢(新西・西島)地区で汚水管布設工事を行いました。

そのほか、マンホールポンプ設備工事、舗装本復旧工事及び今石動町雨水ポンプ場の耐水化工事を行いました。

また、能登半島地震に係る災害復旧工事を市内各地区で行いました。

③ 財政状況

(収益的収支)

収入については、営業収益 392,125,931 円、営業外収益 861,317,910 円、特別利益 15,170,867 円で総額 1,268,614,708 円、支出は、営業費用 1,094,022,193 円、営業外費用 131,209,124 円、特別損失 89,250 円で総額 1,225,320,567 円、収支差引額は 43,294,141 円となりました。

(資本的収支)

収入は、企業債 607,800,000 円、他会計出資金 270,000,000 円、国庫補助金 181,059,412 円、負担金等 39,699,100 円で総額 1,098,558,512 円であり、支出は、建設改良費 479,290,663 円、企業債償還金 1,147,747,123 円で総額 1,627,037,786 円となり、資本的収入額(翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 70,282,812 円を除く。)が資本的支出額に不足する額は 598,762,086 円となりました。

この不足額については、消費税等資本的収支調整額、繰越工事資金及び損益勘定留保資金をもって補填しました。